

中世宗教文明圏の美術と建築④

ビザンティン壁画とイスラーム工芸

2014年1月24日（金）16:00～18:30

早稲田キャンパス 7号館 1階 Faculty Lounge Meeting Room

主旨

キリスト教世界とイスラーム教世界を比較して考察する趣旨の研究会です。
今回はビザンティンの首都コンスタンティノープル（現イスタンブール）
に残る建築と壁画装飾の調査に携わる佐々木氏、そして『真珠の世界史』
という刺激的な書物を上梓された山田氏の発表をいただきます。



講演者：佐々木淑美（東京文化財研究所 保存修復科学センター
日本学術振興会 特別研究員（PD））

山田篤美（歴史研究者・美術史家）

プログラム | 司 会：益田朋幸（早稲田大学 文学学術院 教授）

16:00-16:10 主旨説明および発表者紹介：文学学術院 教授 益田朋幸

16:10-16:50 発表：佐々木淑美

「ハギア・ソフィア大聖堂モザイクの材料・技法～調査研究と現場保存～」

16:50-17:10 質疑応答

17:10-17:25 休憩

17:25-17:30 発表者紹介：高等研究所 助教 鎌田由美子

17:30-18:10 発表：山田篤美

「真珠の世界史におけるムガル・ジュエリー」

18:10-18:30 質疑応答